

## ■ JIS R 5201 : 2015 「セメントの物理試験方法」

### (1) 試験結果の表示

1997年版では、試験結果の表示は「JIS Z 8401によって数値を丸める。」と規定されていた。今回の改正では、「四捨五入によって各試験項目で規定した桁数に丸める。ただし、凝結試験の始発及び終結の測定においては、二捨三入・七捨八入によって5分単位に丸める。」と規定した。

### (2) 密度試験

ルシャテリエフラスコにおいて、容積に関する規定を満たさない場合でも、校正し補正値を求めれば、使用してもよいと規定した。

### (3) 比表面積試験

ブレン空気透過装置において、マンメータ液の降下時間の測定に、自動測定装置(液面計)を使用してもよいことを追加した。

### (4) 凝結試験

ISO 9597 : 2008 の凝結の試験方法を翻訳し、附属書 A とした。ただし、ISO 9597 と JIS では始発の判定基準が異なるため、両方法により求めた始発の時間には有意な差がある。そのため、附属書 A では ISO 9597 により求めた始発の時間を 1.2 で除し報告することとし、従来の JIS の始発の時間との整合を図った。また、始発用標準針による終結の測定方法を規定し、始発及び終結の測定に自動測定装置を使用してもよいことを追加した。

また、1997年版では、湿気箱内の温度は  $20 \pm 1$  °C と規定されていたが、今回の改正では、ISO に整合させるため、湿気箱内の温度を  $20.0 \pm 1.0$  °C と規定した。

### (5) 安定性試験

ISO 9597 : 2008 の安定性の試験方法を翻訳し、附属書 B として規定した。

### (6) 強さ試験

ISO 679 : 2009 を翻訳し、附属書 C として規定した。今回の改正では、強さ試験におけるモルタル供試体成形用型の寸法の許容差及び平面度の規定を ISO に整合した。ただし、1997年版に適合する成形用型も使用できるようにした。

また、1997年版では、湿気箱内の温度及び水槽の水温は  $20 \pm 1$  °C と規定されていたが、今回の改正では、ISO に整合させるため、湿気箱内の温度及び水槽の水温は  $20.0 \pm 1.0$  °C と規定した。

### (7) その他

ブレン空気透過装置、網ふるい、モルタル供試体成形用型、フロー試験用機械器具において、試験結果に影響を及ぼさない規定を削除した。

以上